

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 10月 5日

事業所名 児童発達支援あえる浜北

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	・少し狭さを感じるが、人数により活動内容を変え、安全に生活できるようにしている ・人数が多い時は2グループに分かれ、狭くならないよう工夫している	日々の利用児童の人数に応じて指導室の使い分けを行い、適切なスペースを確保して過ごせるよう努めています。
	2	職員の配置数は適切である	4	2	・14:00以降の職員数が足りない ・たまに少ないと思う時がある	・場合によって一つの部屋で過ごす等、多くの職員で見守り体制を整えられる様務めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・パーテーションを使用したり、部屋を移動したりしている。掲示物で利用児の活動を視覚化している。	・今後も児童が過ごしやすい環境を整え対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	・ロッカーや棚の角がかくばっているものがあり、防止のものをつけても取れてしまっている所がある	・定期的にチェックを行い、安全の確保に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・研修を行ったことはあるが機会が少ない	・適宜研修への参加の案内や社内研修の機会を設けられる様努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・日々の子どもの様子を記入する用紙に支援計画の記載があるため、よく目につくことができ、意識しやすい	・支援計画を意識することができるよう、必要に応じて朝礼時にも情報共有をしていきましょう。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・職員間でアイデアを出し合い、実際に職員でシミュレーションしてから行うようにしている ・新しい内容を取り入れている	・互いに相談し合える機会を設け、チームで取り組むことができるよう努めていきましょう。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・児童の反応を見ながらプログラムを考えている ・クッキングやボール・遠足など新しい内容に挑戦している ・職員間で話し合い、案を出し合い相談をしている	・児童だけでなく、職員もともに楽しめるプログラムを行い、飽きのこない活動を提供できるよう努めていきましょう。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼にて行っている ・滞りなく行うことができています 	・今後もこれまでと同様に取り組んでいきます。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングにて振り返りを行っている ・子どもの様子を情報共有することで、いろんな支援からの気づきができている ・利用者一人ひとりにどのように対応するかを話し合っている 	・今後もこれまでと同様に取り組み、質の高い支援を提供できるよう努めていきたいと思います。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラスに関しては細かく記録を取り、それに基づき支援計画とは別に支援方法の作成をしている ・記入しながら職員間で話し、困った点はその日のうちに改善策を練っている ・日々あらわれを記入し、ミーティング等で職員が共有している 	・今後も同様に取り組み、日々の記録をさらなる支援につなげていけるよう努めていきたいと思います。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			※医療ケアが必要な児童は現在いません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			※医療ケアが必要な児童は現在いません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・かけはしシートを活用している ・利用児の就学の際、小学校へ赴き情報共有を行った。	・必要に応じて外部機関とやり取りを行い、切れ目のない支援を目指していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・かけはしシートを活用している ・利用児の就学の際、小学校へ赴き情報共有を行った。	・必要に応じて外部機関とやり取りを行い、切れ目のない支援を目指していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	・交流の機会はないと思う	・交流の機会を持てるよう善処していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	・積極的な参加ではないと思う	・可能な範囲で参加をしていますが、参加を出来る時間を確保できるよう努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・子どもの利用日には毎回その日の様子を伝えるようにしている	・必要な情報を保護者の皆様にお届けできるよう努めます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	・ペアレントトレーニングは行っていない ・今後できると良いと考えている	・定期的に開催できるよう善処していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・半年に一度モニタリングを行っている。また、悩みがある場合相談の場を設けている ・こちらから積極的に聴いている	・モニタリングに限らず、悩み事をその場その時にお伺いできるよう努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	・就学に向けての保護者会の開催はしたが、それ以外に保護者会を行ってはいない ・今年度初めて行った。今年度内にもう一回くらいあってもいいのかなと思う。参観会などの実施をしても良いのかなと思う。 ・夏祭りなどの自由参観はある	・定期的に保護者の皆様が集まれる機会を設けることができるよう努めています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・あえるだよりを作成している ・活動の様子を保護者の方に見ていただけるよう玄関に写真を掲示している ・インスタグラム、事業所の掲示にて行っている	・今後も様々な方法で情報発信していけるよう努めていきたいと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			

39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待したことはない ・可能な範囲で地域参加できるよう善処していきます

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	・現在アレルギーの児童がいない ・食べたことのない食材を初めて食べている子がいるので心配はある	・安全に食事を提供できるよう、アセスメント時に聞き取りの強化をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・施設内研修があった	・定期的に自己チェックや研修を行えるよう努めています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。